

早池峰

学校教育目標
郷土の誇りを胸に未来へ向けて
たくましく生きる児童の育成
まなび合う子ども 心かよい合う子ども
きたえ合う子ども



HPはこちら↑

令和7年12月16日（火）第31号

第2回家庭学習強化週間 & ノーメディア週間の取組へのご協力ありがとうございました

11月20日（木）～27日（木）に行われた「家庭学習強化週間」ならびに「ノーメディア」そして本校独自の「Wゼロデー」へのご協力ありがとうございました。今回の取組の結果をお知らせします。

令和7年度 第2回家庭学習強化週間 11/20～27 取組み結果（附馬牛小）

	家庭学習目標時間	学習時間平均	目標達成人数	メディア視聴時間平均
1年生	20分以上	30分	4人（100%）	20分
2年生	30分以上	36分	7人（100%）	51分
4年生	50分以上	59分	5人（71%）	44分
5年生	60分以上	67分	4人（100%）	63分
6年生	70分以上	89分	5人（100%）	105分

※Wゼロデーは除いて計算

上の表の通り、学年ごとの平均でみると全学年で目標学習時間を越えています。また、目標を達成した人数では、4年生以外が100%となり、1回目よりも達成率が高くなりました。一方、メディア視聴時間については学年によって差が見られますが、全校平均では約57分という結果となり、全体的にみると1回目よりもメディア視聴時間は増加したことがわかります。また、一人一人のがんばりカードの結果から、音読・読書も概ねしっかりと取り組んでいることがわかりました。

家庭学習は単に時間が長ければ良いものではなく、あくまでも目標時間は目安であり、前号でも触れたように大事なのは内容や取り組む姿勢です。とはいうものの、ほとんどの児童が目標時間をクリアできたことは素晴らしいことだと思います。メディア時間が増加した背景には、季節や天候など要因も関わってくると思いますが、今後冬休みに向けてどのようにメディアとの付き合い方をコントロールしていくかということについては、ぜひご家庭でも話し合っていただければと思います。そして、ぜひお子さんの頑張っているところを認め、これからも励ましていただければと思います。

また、今回も遠野中学校区学校運営協議会の取組の1つとして「ノーメディア」にもご協力いただきました。本校ではこれまでも独自の取組として「Wゼロデー」にご協力いただいているところですが、本校の保護者の皆様にご回答いただいたアンケートの集計から「実施できた・概ね実施できた」が91%、「今後も定期的にノーメディアを設けたいと思いますか？」という設問に対しても、肯定回答が91%という結果となりました。アンケートへのご協力ありがとうございました。

☆「附っ子家庭学習がんばりカード」より、保護者の方からのコメントを一部紹介いたします。
（お忙しい中、ていねいにコメントを書いていただきありがとうございました）

- 自分で決めためあてやメディアの時間をしっかり守っていてよかったです。これからもノーメディアで取り組み、学習時間を大切にがんばってほしいです。
- 一人勉強ノートをもう少していねいに使えると良いと思います。
- テレビやゲームをやめることが難しかったですが、気持ちを切り替えてからは集中して勉強していました。
- すぐにメディアや遊ぶことに重心をおいてばかりだったので、次回は少し長く学習してほしいです。
- 自ら取り組んで頑張ったと思います。
- 勉強はがんばっていましたが。メディアの時間は親も気をつけなければいけませんね。
- がんばって取り組みました。いつもていねいに書いていてすごいな！と思います。これからもがんばってほしいです。
- めあてへの取り組みをがんばって守られていたので良かったと思います。この調子で毎日学習してほしいです。